

平成30年  
10月28日執行

# 妙高市長選挙公報

妙高市選挙会  
管理委員会

## 情熱・責任・実行力

新潟県住みよさランキング・財政健全化ともに県内1位  
今、市政の停滞は許されません  
新たな挑戦に、あなたの力を！



**入村あきひろ**  
昭和四十二年 妙高市小出雲に生まれる  
昭和四十五年 駒澤大学経済学部商学科卒業  
平成一七年 妙高市長就任 現在に至る  
全国市長会理事・新潟県市長会相談役  
新潟県特別豪雪地帯市町村協議会会長  
新潟県スキー観光産業振興協議会副会長  
新潟県農地関係地すべり防止事業推進協議会会長  
新潟県治水砂防協会副会長 ほか

### 安心

- ・子ども医療費の完全無償化・学校給食費の無償化の推進
- ・子供の病中病後の保育あずかりの実施
- ・障がい者支援の充実、強化・給付型奨学金の導入
- ・除雪作業基準の見直し

### 再生

- ・農業による新たな6次産業化の推進
- ・新たな防災と観光拠点の道の駅整備
- ・魅力的、健康的な山岳観光地づくり
- ・社会資本の維持強化と空家対策の推進

### 健康

- ・安心して生活できる社会保障整備
- ・医師確保による地域医療の充実
- ・生涯スポーツの環境づくり
- ・健康保養地（クアオルト）の充実

### 活力

- ・新井南部地域（R292沿い）に新たな拠点整備
- ・市民参加の市街地活性化の推進（新しい図書館の整備など）
- ・地域コミュニティ体制の再構築
- ・人口の自然増、社会増をめざす（大学誘致など）

### 環境

- ・妙高高原ビジターセンターの改築
- ・ライチョウ保護活動の拡大
- ・地熱発電の推進



**わたなべ道宏**  
みちひろ  
53歳

長野大学社会福祉学科卒業  
妙高市役所25年勤務（福祉ほか）  
元国会議員公設秘書  
平成29年 行政書士事務所を開設

現在の市政は公共施設の建設に重きが置かれ、高齢者・障がい者福祉や子育て支援・子供達の教育が軽んじられています。私は大切な税金の使い道を抜本的に見直し、福祉関連予算と未来を担う若者への投資を大幅に拡充します。そして地元産業界と連携して、地域経済の復活に全力を尽くします。

① 国民年金でまかなえる在宅介護を実現します。

② 保育園バス・地域循環バス・移動スーパーを運行します。

③ 深夜交替勤務と緊急車両のための道路除雪を行います。

④ 妙高市独自の農業支援制度を創ります。

⑤ 観光客を増やすため全国的な宣伝活動を展開します。

⑥ 市外・県外業者より地元業者優先の市政へ転換します。

⑦ 行財政改革の断行で皆様の負担を一元でも減らします。

○投票日

**10月28日（日曜日）午前7時から午後8時まで**

○投票時間

ただし、一部の地域では次のとおり投票所閉鎖時刻が異なりますのでご注意ください。

- 新井地域…矢代及び南部地区の各投票所は午後7時までです。
- 妙高地域…樽本及び斑尾地区の各投票所は午後6時まで、その他の投票所は午後7時までです。
- 妙高高原地域…全投票所、午後7時までです。

※この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により、縮小して印刷したものです。